

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	学び舎with梓川教室		
○保護者評価実施期間	2025年2月10日 ～ 2025年 3月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 1人
○従業者評価実施期間	2025年3月3日 ～ 2025年 3月 8日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・5領域を踏まえた活動を満遍なく行うことができるよう、児童の様子を踏まえ、月の予定をたてている。	・児童の課題に沿いながら、活動のねらいをたて、同じ活動内容でも個々の課題を意識した提案を行っている。	・児童と接する支援者一人一人の思いの共有を行うことで、より活動の幅が出たり、提案ができるよう振り返りや話をする機会を多く持つ。
2	・支援者間で情報共有を行い、子どものことを十分に理解するように努めている。	・振り返りを日々行い、反省点や疑問点、児童の姿の共有を全員で行う。	・出た意見や思いを次に生かすことができているかの確認やどのように反映することができるのか等、また、どのような効果があったのか意見交換。
3	・公園や図書館等へのお出かけの活動を取り入れることで、社会性を育てるとともに通所への楽しみを見出している。	・自然散策を行ったり、交通ルールを知りながら歩く等、公共の場所での過ごし方や社会性の向上を図っている。	・自発性を引き出すために、児童へ問いかける場面を作りながら考える機会を持つ。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会を行っておらず、保護者同士の交流の場がないこと。	・コロナ禍に事業所が始まったこともあり、開催のタイミングが掴めなかった。	・子育てセミナーやペアレント・プログラムを定期的に開催することで、保護者の交流を図る。
2	・室内の広さはあるが、パーテーションでの仕切りのため、声の響きやすさがあり、活動ごとの区切りが課題。	・パーテーションを用い、相談室・職員室・活動スペース・静養スペースを区切っていることで声が響きやすい。	・静と動の活動を組み合わせることで、個々の過ごしやすさを目指している。
3	・専門職員がおらず、保護者のニーズに対応できないことがある。	・応募者が少なかったり、定着率が悪いなど、人数の確保ができない。	・就職説明会などに参加し、業界のアピールをする。